



「丸型郵便ポストも文化財？」

以前は、丸型郵便ポストをどこの街でも見かけることができました。しかし、昨今はほとんど見かけることがなくなりました。丸型ポストの正式名称は、「郵便差出箱 1 号（丸型）」で 1949（昭和 24）年に登場し、丸型ポストの最終型となりました。その後、1970（昭和 45）年に後継の「郵便差出箱 1 号（角型）」が登場し、丸型の生産・設置は終了しました。

その中であって、加古川市内にも何箇所か丸型ポストが堂々と存在しています。右の写真は尾上町にあるものです。



ちなみに、東京 23 区内では現在 5 個が存在しているだけです。なんと人口比で日本一が、兵庫県の芦屋市です。人口約 9 万人に対し、19 個の丸型ポストがあります。

現在、近代化遺産、近代化産業遺産が注目されています。皆さんの記憶に新しい「富岡製糸場」は近代化遺産で初めて世界遺産に登録されました。2014 年度の昨年の NHK 大河ドラマ「花燃ゆ」の後半の舞台が群馬県です。その中でも「富岡製糸場」が登場していました。身の回りの身近な存在に心やる想いをもちたいものですね。

ぶらり加古川 第 26 号

平成 28 年 4 月